

校長挨拶

～生徒の多様性に応える学校～



校長
今瀬 一博

大子清流高等学校の「スクールガイド2023」をご覧ください、ありがとうございます。

本校は、長い歴史を持つ、大子第一高等学校と大子第二高等学校の伝統と精神を受け継ぎ、2004年4月に誕生した、開校19年目の学校です。

本校には「農林科学科」と「総合学科」という二つの学科がありますが、まずは「多様な学び」を実現する、この二つの学科の特徴からお話しします。

「農林科学科」では、1年次で農業と林業の基礎を学び、2年次以降は「農業科学コース」と「森林科学コース」に分かれて専門性を深めます。専用の農場や演習林では様々な実習や演習を通して、自然の素晴らしさや生命の尊さ、収穫の喜びなどを学びます。多くの専門科目の中には、スマート林業に寄与するための「ドローン資格取得講習」や「オオクワガタの繁殖飼育」、大子ならではの「奥久慈しゃもの飼育」や「蒟蒻芋の栽培」などユニークなものもあります。将来の進路は、専門性を生かした就職のほか、大学・専門学校等への進学にも対応しています。なお農林科学科は、生徒の全国募集を行っており、県外及び県内遠隔地からの入学生も受け入れています。その場合、住宅の斡旋や住宅費の補助等、充実した支援を受けることができます。

「総合学科」では、1年次に全員共通の授業を受け、2年次以降は進路希望に応じて「人文科学系列（文系）」、「自然科学系列（理系）」、「福祉系列」に分かれて学びます。各系列では生徒の希望に沿って、国公立大学、短期大学、専門学校等への進学、公務員、民間企業への就職等、幅広い進路希望を実現しています。そのために、習熟度別授業や少人数授業、課外授業等を実施して多様な生徒の希望に対応するとともに、3年間を通して系統的なキャリア教育を行い、進路意識を育み学力の向上を図ります。また、進路実現に直結した少人数授業の実施や特徴的な「学校設定科目」があるのも、本校総合学科の特徴です。「福祉系列」では、町内の複数の福祉施設と実習契約を結び、校内で学んだ知識や身に付けたスキルを、より実践的に体得することもできます。

その他の特徴的な取組としては、グローバル化に対応した国際教育にも力を入れています。大子一高時代から続く「タイ王国カセサート大学附属高等学校」との相互訪問や、「ワールドキャラバン国際理解教育」の積極的な推進などによって、広い社会性を育み多くの知見を得て視野を広げることができます。

また、地元の大子町とは人材育成や地域活性化等のための連携協定を結び、国際交流及び学力向上（Classiの活用）、部活動に対する支援、給食提供等の援助を受け、学校からは、町の事業等へのボランティア派遣や町づくりへの提言などを行います。

このように本校では、「生徒の多様性」に対応したきめ細かな教育を通して、将来、それぞれの分野で活躍し社会に貢献できる、心豊かで活力ある若者を育てたいと考えております。ぜひ、大子清流高校で皆さんの豊かな学びを実現してください。

生徒会長からのメッセージ



生徒会長
松嶋 晴人
(3AF・大子中)

大子清流高校には、農林科学科と総合学科の2つの科があります。どちらの学科も学習内容が充実しており、魅力的です。

私の所属する農林科学科では、自然の豊かさを活かし、農業や林業に関する知識や技能を学ぶことが出来ます。総合学科では、自分の進路に応じて系列を選択することができ、それぞれが自分に合った授業を選択して学習します。先生方も、生徒の多様な希望進路の実現のため、さまざまなサポートをしてくださります。

さらに、清流高校では、クラスマッチや輝流祭をはじめとする学校行事やタイ王国との交流、地域のボランティアへの参加や各種部活動も盛んに行われています。

3年間という短い高校生活ですが、大子清流高校で楽しい思い出をつくりませんか？